

【逆転劇は第2章へ】累計1000パック完売の

「たこ焼きトレカ」がDX化！

函館の3坪店主がAIを相棒に自力で“ゲームの街”を建設

物価高騰を「遊び」で突破する！畑でカードを収穫し常連客（キャラ）に売る
「ブラウザゲーム型ホームページ」が2026年3月12日公開。



【焼かれた伝説 たこ焼きトレーディングカード】3坪の店舗から生まれた物語がブラウザ上の広大な「街」へと進化した

北海道函館市 湯の川にある3坪のたこ焼き店「たこ焼き菜々（なな）」は、原材料高騰による値上げを避けるための奇策として2025年9月に発売した「たこ焼きトレーディングカード」を半年で累計1000パックを販売達成、店頭初期ロットが完売したことをお知らせいたします。

この成功を受け、店主は次なる一手として、生成AI（ChatGPT等）を活用し自ら開発したゲーム型公式ホームページ「焼かれた伝説 たこ焼きトレーディングカード」を3月12日に公開いたします。

○開発の背景

物価高騰への「回答」は、1000パックの完売。

2025年9月、全国的な物価高騰に対し「値上げせず、カードを売って原価を補う」という前代未聞の挑戦を開始した当店。

「たこ焼き（8個450円）より高いカード（1パック500円）」、というユーモアが地元の常連客だけでなく全国のトレカファンやメディアの関心を集め、わずか半年で1000パックを完売。この実績により、たこ焼きの価格維持に成功しました。

この楽しさによる課題解決をさらに加速させるべく、店主は1人でデジタル開発に着手。「たこ焼き」「カードゲーム」が融合する仮想空間を構築しました。



発売半年で1000パックを完売した「たこ焼きトレーディングカード」



現在は完売に伴い第2弾（シルバー枠）を制作中

○新サイト「焼かれた伝説 たこ焼きトレーディングカード」の特徴

単なる店舗案内ではなく、RPGのような世界観で構成された「ブラウザゲーム型ホームページ」です。

1. メインゲーム「たこ焼きファーム」

畑にタネを植え、デジタル版の「たこ焼きトレカ」を収穫。収穫したカードはデジタル図鑑にコレクションしたり、ゲーム内通貨「オクト」で売買したりできる循環型シミュレーションです。

2. 「露店ごっこ」で常連客と交流

実際の常連客をモデルにしたキャラクター「タコ民」が住民として登場。自分の露店でカードを販売する“店主体験”が楽しめます。

The screenshot displays the 'たこ焼きファーム' (Tako-yaki Farm) interface. At the top, a banner reads '常連客がキャラに! 「露店ごっこ」で繋がる街の輪' (Regular customers become characters! 'Tako-yaki Gokko' connects the town's circle). Below this, a central display shows a '陳列棚で商品をアピール' (Appeal products on the display shelf) with four items: '伊の守の巻' (I-no-mori no Maki), '醤油たこ焼き' (Shoyu Tako-yaki), 'たこ焼きマコフェスト' (Tako-yaki Mako Festival), and 'たこ焼き、焼けて焼' (Tako-yaki, cooked and cooked). To the left and right are character portraits and their respective shop displays. At the bottom, three characters are introduced: '目指せコンプリート!' (Aiming for completion!) for Nabitako (left), 'ユーモア溢れるセリフに注目!' (Pay attention to the overflowing humor in the dialogue!) for Anatako (middle), and '替え玉(追加購入)できる?' (Can you buy replacements?) for Kawaridama (right).

店主がAIを駆使して自らドット絵を描きシステムを構築したゲーム画面。畑でカードを収穫し露店で売るという体験ができる

3. リアルとデジタルの連動 (020 施策)

店頭や通販でカードを購入するとゲーム内で限定カードが収穫できる「シリアルコード」が付与されるコラボ企画を随時実施。リアルでの購買をデジタルの遊びへと繋がります。

4. 昼夜で変化する「生きた街」

時間帯によって背景や住民のセリフが変化。3坪の店舗から始まった物語がネット上の「街」へと広がりました。

○飲食店 DX の新しいカタチ：AI は「小さな店の武器」になる

本サイトの企画、キャラクターデザイン、ドット絵制作、ゲーム設計、実装まで、すべて店主が1人で行いました。開発の相棒となったのは ChatGPT などの生成 AI です。

「予算がなくても、技術がなくても生成 AI を活用すれば3坪の個人店でもここまでできる」という姿を示すことで同じように苦境に立つ飲食店への希望となることを目指しています。

○店主・對馬（つしま）のコメント

「カードを焼く」と言ってから半年。おかげさまで1000パックが完売し、たこ焼きの値段を守ることができました。今回のホームページ制作は応援してくれた皆さんへの恩返しでもあります。

たこ焼きを焼きながら、空いた時間に AI と相談して作ったこの街には、函館の空気感と私の遊び心を詰め込みました。

たこ焼きは食べればなくなりますが、この街での体験はいつでもスマホの中にあります。ぜひ、遊びに来てください。



たこ焼きを焼き、カードを焼き…そしてゲームの街を創り上げた店主 對馬。

手に持つのは「完売御礼」となった第1弾カード

● 商品・サービス概要

公式サイト名：焼かれた伝説 たこ焼きトレーディングカード

【焼かれた伝説 たこ焼きトレーディングカード】



公式サイトはこちら

URL：<https://takoyaki-card.com>

公開日：2026年3月12日

利用料金：無料（一部、リアル商品購入による特典あり）

リアル商品：たこ焼きトレーディングカード 第1弾

価格：500円（税込）

販売場所：店頭（函館市湯川町）および通販（BOOTH）



【本件に関するお問い合わせ先】

屋号：たこ焼き菜々 担当：対馬 裕佳子(つしまゆかこ)

所在地：北海道函館市湯川町1-26-12 電話：070-4077-7732

E-mail：takoyakinana77@gmail.com 公式サイト：<https://takoyaki-card.com>